

# マルバグミ

*Elaeagnus macrophylla* Thunb.

グミ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

## 選定理由

県内における生育地がごく限られ、個体数も少ない。(現況:RO)

0 10 20km

## 形態

常緑低木。枝がつる性となって長く伸び、とげは無い。若枝には明らかな稜角があり、白茶色の鱗片におおわれている。葉は広卵形で下面には銀白色の鱗片が圧着し、やや光沢がある。花は白色で葉腋に数個束生する。萼筒は鐘形で長さ4~5mm。萼裂片の長さは筒部と等長か、やや短い。

## 国内分布

本州(秋田県と茨城県より南方)、四国、九州、琉球。

## 県内分布

南加賀区。

## 生態など

花期は10~11月。果実は冬を越して、4~5月頃に赤熟する。

## 生育環境

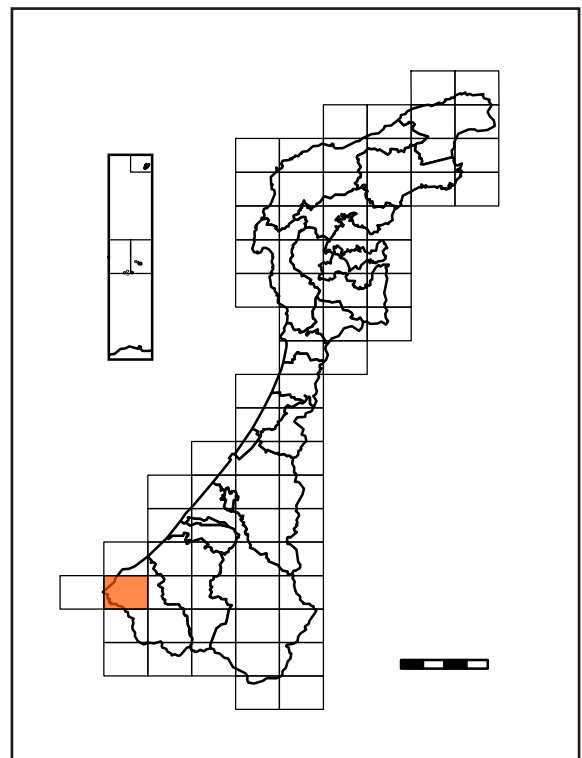
沿海地。

## 危険要因

海岸開発、産地局限。



林 二良・2009年3月28日



県内の分布